

## 組合員・生産者・職員、みんなの共有財産 新本部・配送センター完成!

### 4月4日、竣工式をとりおこないました。



### 4月末までに引越を終え、5月本稼働します!

- 4月3週 本部機能移転
- 4月末 物流配送機能移転
- 5月より新センターから配送スタート。



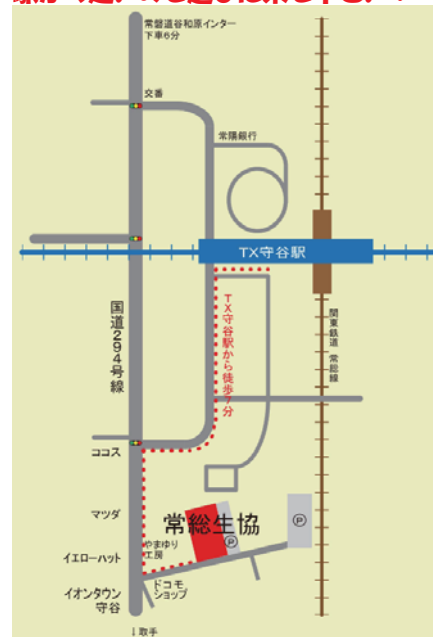
### テープカットは次の世代の子どもたち!



4月4日(土)  
竣工式を行いました。

6月13日(土) 総代会  
後、組合員さん向けご  
案内・施設案内予定。

### 駅から近いので遊びに来て下さい!



新本部の電話番号は tel : 0297-48-4911 (以前の番号) に戻ります。

3月末建物引き渡しを受け、4月4日「竣工式」をとり行いました。



生協役員、地主さん、銀行ならびに染谷工務店はじめ工事関係者総勢 60 名で「竣工式」をとりおこないました。



地鎮祭・上棟式から竣工式までとり行ってくれたのは、常総生協の創設に尽され土地を提供してくれた元監事・顧問の(故)下村進さんの息子さん(守谷八坂神社宮司)良弘さん



**組合員を代表して理事・監事が常総生協の発展を祈願しました**

新センター建物建設を引き受けてくれた地元常総市の染谷工務店(株)さん。工期どおりの完成ありがとう！右が服部社長。



たくさんの人にお世話になりました。これから力を合わせて頑張ります！



染谷工務店・服部社長

「地元のお客様に喜んでもらえる建物をつくるのが私たちの幸せ」  
東京オリンピックの開催などで資材の高騰、職人不足が取り沙汰される中で、地元常総市の染谷工務店（株）さんは、工期通り・予算通りの完成をしてくれました。



地主 下村敏行さん

「父があと半年生きていたら生協の新しいセンターを見ることができたのに・・・。  
地元の協同組合づくりは父の夢でした・・・」



祝 常総生協竣工祝賀会

2015年4月4日

染谷工務店  
現場総監督西村さん



常陽銀行挽地取手支店長

「今日、常総生協のみなさんにお会いして、大勢の女性たち中心にこんなにアットホームな協同組合に驚きました。地域のお母さんたちが出資し、こんな事業をつくることはすごいこと・・・」



染谷工務店・井上部長



工事図面を書き、たくさんの業者を束ねて工程管理する総監督は、染谷工務店の若手ホープ西村さん。「井上部長が聞いてくる生協からの要望で工事図面を4度書き直した。『できない』とは言いたくなかったので徹夜でも頑張った。」竣工祝賀会では裏話も。

井上部長「地面を1m上げて駅前と同じ高さにするのが大変でした。社長命令でやりました。」完成直前まで生協からの二転三転する要望に丁寧に細かく対応してくれました。



調理実習室の対面アイランドを見る理事さんたち  
「これからここでお料理や台所の交流ができるのね！」



職員の金田さん（組織部）が、竣工式までに2枚の絵を描いて贈ってくれました。  
「常総生協は地元の自然とともに、その産物を大切にする生協。森と里と川海をつなぐ生協になりたいとの思いで描きました。その象徴は筑波山とそこから流れる川です。有機農業の里やさから見た筑波山です。」

新たなセンターを拠点に、地域のみなさんと共にがんばります！



## 福島・山木屋牧場は今・・・(2015.4.2)

2011年。生産者と牛が飲む大量のペットボトルと、ドラム缶に入れたガソリンをトラックに積んで福島・山木屋グリーン牧場にたどり着けたのは4月2日。あれから4年。

消費地の私たちは生協を何とか建て直せたのに、牛たちを殺処分し計画的避難ののち草に埋もれ廃屋・廃山同然の荒れ放題だった山木屋牧場に、突如「除染作業」なるものが始まっていた。

作業員・ダンプ・軽トラが行き交い、重機が音を立て、あの静かな自然の山は騒音と土埃で喧噪の中。作業員が「粛々と」除染作業をしている。牧

場から数百メートルの飯館村との境の浪江に向かう道路は封鎖されていて、人も許可証がなければ立ち入れない。

牧場の看板は落ち、牧場前に置かれた空間線量のモニタリングポストは1.268マイクロシーベルト/時を示している。牧場横には放射性廃棄物が黒いビニールのフレコンバックで積み上げられ、牧場には砂利が敷き詰められている。大地には牛が食む草もなく、牛の姿はもちろんあるはずなかった。

なんと空しい風景か。25年来、牛乳やチーズを頂いてきた牧場の今。これがもうひとつの現実。



## ありし日の山木屋牧場 (1999、2003年の組合員キャンプにて)

